

生活を支えた命の水

「陣の水」を守っていききたい



profile

「陣の水を守る会」会長

ちはら くにしき
千原 國喜さん

昭和13年10月15日生まれの79歳。三角町在住。三角町波多にある湧き水「陣の水」の管理を地元の有志と共に行っている。13年間続けている陣の水周辺の朝夕の清掃活動のほかにも、地元の子もたちにもふるさとの水を大切にしてもらおうと、陣の水の名前の由来などを紙芝居で伝える活動も行っている。趣味はグラウンドゴルフ。

宇輝人
vol.30

宇城市で輝くあなたを紹介

ふるさとの水を後世に

「みんなに気持ちよく使ってほしいから」と笑顔で話す千原さん。整備の行き届いた湧き水「陣の水」には次から次に水を汲みにやってくる人たちがいました。

7月13日には、陣の水を見学に訪れた三角小の3年生27人に、湧き水の由来を説明し、みんなで試飲。その後、地区の公民館で住民手作りの紙芝居を披露した千原さんは、「陣の水の名前の由来は、1185年に平家の落人が湧き水を発見し、陣屋を築いたことには地域を救い、生活を支える大切なものだった。約60年前に上水道が整備されると同時に、井戸は埋められてしまったが、30年ほど前に住民が復元し、給水所を設置した」と子どもたちに陣の水は地域を潤す命の水だと語り継ぎました。



陣の水の由来を紙芝居で説明する千原さん

